

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

令和2年3月30日
北アルプス地域振興局

提出区分	実績				
整理番号	26	課題区分	C		
実施機関	北アルプス地域振興局			担当課	所属 商工観光課
事業名	第4回北アルプス山麓 観光大学			電話	0261-23-6523(直)
				E-mail	kitachi-shokan@pref.nagano.lg.jp
事業概要	目的 (目指す姿)	「体験・学習旅行の現況と北アルプス山麓の秘めた可能性」をテーマに観光大学を開催し、地域で観光業に携わる関係者の皆様のスキルアップの機会とする。			
	現状と課題	当地域の基幹産業である冬季観光を中心に、インバウンドの占める割合は急速に増加している。その一方で、国内旅行需要の伸び悩みが大きな課題となっており、修学旅行等での体験学習の重要性や当地域の優位性を再認識するとともに、繰り返し訪れてもらうために何が必要なのかを、議論していく。			
概要	内容 (変更後の内容)	<p>○基調講演「体験・学習旅行の意義と北アルプス山麓エリアの魅力」 (公財)日本修学旅行協会 理事長 竹内 秀一 氏</p> <p>○事例研究「観光人材の育成～白馬高校の挑戦～」 高校生レストラン、観光版デュアルシステム(観光事業の現場実習)の取組 (発表者)白馬高校国際観光学科2年生・3年生 (助言者)白馬東急ホテル 総支配人 吉野 良平 氏</p> <p>○パネルディスカッション「体験・学習旅行の現況と北アルプス山麓の秘めた可能性」 コーディネーター 長野県議会スキー索道振興議員連盟 会長 宮澤 敏文 氏 パネラー① 長野県学習旅行誘致推進協議会白馬支部 会長 岩井 良三 氏 ② JA大北 観光課 係長 丸山 匠 氏 ③ 長野県観光部長 中村 正人 氏 アドバイザー① (公財)日本修学旅行協会 理事長 竹内 秀一 氏【基調講演者】 ② 元長野県学習旅行誘致推進協議会 常務理事 恵崎 良太郎 氏</p>			
		事業期間	令和元年10月		～
等	成果目標 (成果指標)	地域の観光関係者の参加者数:50名			
事業費等	(単位:円)				
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画(実績)額	備考	
	第4回北アルプス山麓観光大学	・基調講演 ・事例発表 ・パネルディスカッション	107,070	基調講演者、パネラー 報償費:54,800円 旅費:40,930円 需用費:11,340円(チラシ印刷)	
	合計		107,070		
事業実績・成果	事業実績		事業の成果		評価
	<p>宿泊、索道、飲食、行政など地域の観光振興に携わる者105名が参加。</p> <p>○基調講演の実施 (公財)日本修学旅行協会 竹内理事長</p> <p>○白馬高校生による事例発表</p> <p>○パネルディスカッションの実施 パネラー ①岩井氏、②丸山氏、③中村氏 アドバイザー ①竹内氏【基調講演者】、②恵崎氏 コーディネーター 宮澤氏</p>		<p>基調講演及びパネルディスカッションを通じて、北アルプス山麓地域の魅力や可能性について再認識することができ、当地域の観光事業に携わる者にとっての貴重な研修の機会となった。</p> <p>また、地元白馬高校生による企業実習等の取組状況を地域の方に知ってもらった良い機会となった。</p> <p>当初想定を大きく上回る100名超の参加者があった。</p>		<p>○ 期待以上</p> <p>● 期待どおり</p> <p>○ やや下回る</p> <p>○ 期待以下</p>
今後の方向性	当地域の主要産業のひとつである観光分野の研修会については、今後も時宜にあったテーマを設定して開催していく。				